

東海村発足60周年記念スペシャル!

イモゾーファミリーと振り返る 東海村60年のあゆみ

昭和47年 (1972年)	昭和46年 (1971年)	昭和45年 (1970年)	【主な出来事(昭和45〜49年)】
5月 ○久慈川サイクリングコース完成(久慈大橋 〜金砂郷村常井橋)	10月 ○第1回東海村総合体育大会開催 ▽75歳以上の国保医療費を無料に ▽茨城県東海地区環境放射線監視委員会発足	10月 ▼阿漕ヶ浦公園用地の買収開始	6月 ▼「交通安全の村」を宣言
4月 ▼不燃ごみの村内全域収集開始 ▼「緑ヶ丘」区誕生	11月 ▽放射能災害防災訓練 ▼「走る村政懇談会」第1回東海村民号実施 (福島県原町の野馬追いへ) ○第29回茨城国体実行委員会結成	9月 ○須和間(現・中丸)小学校校舎・プール完成	9月 ○須和間(現・中丸)小学校校舎・プール完成
3月 ▼福島県原町の市民号来村	6月 ▼動燃東海事業所が使用済核燃料再処理工場の建設着工 ▼緑ヶ丘団地の造成始まる	8月 ▼須和間小学校を中丸小学校と改称 ▽東京大学大学院工学系研究科附属原子力工学研究施設の高速中性子源炉(弥生)臨界	8月 ▼救急業務開始
1月 ▽三菱原子燃料株式会社にウラン加工事業許可 ○「広報とうかい」県広報コンクールで特選	5月 ▼救急業務開始	7月 ▼村松地区に簡易水道完成	7月 ▼村松地区に簡易水道完成
	4月 ○須和間小学校を中丸小学校と改称 ▽東京大学大学院工学系研究科附属原子力工学研究施設の高速中性子源炉(弥生)臨界	6月 ▼「交通安全宣言塔」を村内2か所に建設	6月 ▼「交通安全の村」を宣言
	3月 ▼都市計画法に基づく区域指定(線引き・市街化区域740ヘクタール)	5月 ▼「交通安全宣言塔」を村内2か所に建設	5月 ▼「交通安全の村」を宣言
	2月 ▼「交通安全宣言塔」を村内2か所に建設	4月 ▼須和間小学校を中丸小学校と改称 ▽東京大学大学院工学系研究科附属原子力工学研究施設の高速中性子源炉(弥生)臨界	4月 ▼須和間小学校を中丸小学校と改称
	1月 ▽三菱原子燃料株式会社にウラン加工事業許可 ○「広報とうかい」県広報コンクールで特選	3月 ▼都市計画法に基づく区域指定(線引き・市街化区域740ヘクタール)	3月 ▼都市計画法に基づく区域指定(線引き・市街化区域740ヘクタール)



▲久慈川サイクリングコース完成(昭和47年)

▶季節保育所・東海公民館須和間分館(昭和46年)



◀第1回東海村民号(昭和46年)

▼原子力視察団、欧米へ視察(昭和46年)



須和間(現・中丸)小学校の校舎(昭和45年)



馬乗り一原燃線(昭和45年ごろ)

あのころの…
「広報とうかい」
こんな記事(一部抜粋)

■須和間小最後の卒業式 新年度から中丸小学校(第160号/昭和46年3月20日発行)

小学校移築にとまなう校名を改めるための条例改正で須和間小学校は、昭和46年4月1日から「中丸小学校」と改名されることになりました。同小学校は、明治22年に村松村大字須和間に設置、その地名を取って「村松尋常小学校須和間分教場」として創立、昭和24年1月には独立校に昇格、校名も村松村立須和間小学校となり、昭和30年3月、石神・村松両村の合併で、現在の東海村立須和間小学校となりました。：校舎移築を機会に昨年9月の新学期から、地域住民に通称「中丸」と呼ばれている大字村松字藤ヶ作に、移転しましたので、藤ヶ作より一般的に知られている中丸の地名をとり、新年度から東海村立中丸小学校と呼ぶこととなります。

■季節保育所開く(第163号/昭和46年6月20日発行)

ことしから開設された春の「季節保育所」は、5月15日から白方・須和間の両公民館分館で開所されました。この保育所は、農繁期中にこ



昭和49年 (1974年)	昭和48年 (1973年)	昭和47年 (1972年)
12月 ▼水戸広域市町村圏事務組合で建設を進めた総合老人保健センター「ひぬま荘」完成 ▼…暮らし○…教育文化▽…原子力	5月 ▼消防庁舎完成 ○石神小学校が文部省の48年度学校給食改善研究指定校となる	11月 ○東海なかよし幼稚園を村立化、村松・石神幼稚園発足
10月 ○第29回国体開催(水と緑のまごころ国体、東海村はホッケー会場となる)天皇、皇后両陛下ご来村 ▼都市計画街路「駆上りー原燃線」完成	6月 ▼原電・東海第二発電所建設工事着手	10月 ○NHKテレビ朝の番組で「茨城風土記・東海村」放送
8月 ○NHKテレビ朝のドラマ「鳩子の海」東海村ロケーション行われる	8月 ○茨城国体のリハーサルを兼ね第15回全日本実業団ホッケー選手権大会開催	6月 ▼東海村消防本部(署)発足 ▼三菱原子燃料株式会社東海製作所開所
7月 ○「広報まごころ」創刊から200号	6月 ▼茨城国体のリハーサルを兼ね第15回全日本実業団ホッケー選手権大会開催	3月 ▼水戸対地射爆場が返還される ▼住友金属鉱山株式会社核燃料事業部操業開始
6月 ○村松保育所開所 ▼電源三法案(発電用施設周辺地域整備法案・電源開発促進税法案・同特別会計法案)成立	4月 ○百塚保育所開所・舟石川幼稚園開園 ▼福祉課と水道課新設	1月 ▼東海村第1次総合計画策定 ▼都市計画法に基づく用途地域指定 ▼70歳以上の医療費が無料に
4月 ○宿幼稚園開園	4月 ○百塚保育所開所・舟石川幼稚園開園 ▼福祉課と水道課新設	1月 ▼東海村第1次総合計画策定 ▼都市計画法に基づく用途地域指定 ▼70歳以上の医療費が無料に
2月 ▼生活安定緊急対策本部設置	3月 ▼水戸対地射爆場が返還される ▼住友金属鉱山株式会社核燃料事業部操業開始	1月 ▼東海村第1次総合計画策定 ▼都市計画法に基づく用途地域指定 ▼70歳以上の医療費が無料に
1月 ▼ソ連原子力視察団来村	3月 ▼水戸対地射爆場が返還される ▼住友金属鉱山株式会社核燃料事業部操業開始	1月 ▼東海村第1次総合計画策定 ▼都市計画法に基づく用途地域指定 ▼70歳以上の医療費が無料に

▲NHKテレビ朝のドラマ「鳩子の海」東海村ロケーション(昭和49年)

▶第29回国体ホッケー競技(昭和49年)

▶小学生の通学風景(昭和47年ごろ)

▼国体の炬火の原3号火を原探(昭和49年)

▶水戸対地射爆場が返還される(昭和48年)

▶国体にご臨席された昭和天皇と皇后(昭和49年)

もの保育をする人がいない家庭を対象に、開設されたもので、…白方地区(保育児9名)と須和間地区(保育児19名)の2か所、7月14日までの2か月間毎日(日曜、祭日を除く)開設されます。…いまでは子供たちもすっかりなれて、夕方親がむかえにくるまで、…毎日保育さんと楽しくすごしています。なお、この保育所は秋にも開設する予定で、経費は無料ですから、農家のみなさん、この季節保育所をご利用ください。

■「緑ヶ丘」区が誕生すでに188世帯が入居(第174号)昭和47年5月20日発行

須和間地区と押延地区の中間に建設中だった旧名「須和間地」は、昨年4月から入居をはじめ現在までに188世帯の入居が終了しました。これにともない、村ではことしの4月1日から正式に「緑ヶ丘区」として取り扱うことになりました。なお、同団地は将来320世帯まで増える予定です。

■七口歳児保育所を新設 川崎村長施政方針(第185号)昭和48年4月20日発行

4月から百塚保育所が開設される運びとなりましたが、本年度はさらに勤労婦人の要望にこたえるべく、ゼロ歳児を前提として一園の新設を計画いたしました。